

Istanbul Weekly vol.5-no.36

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2016年10月28日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：実権型大統領制の実現にむけた憲法改正プロセスの進捗。
国会、7月15日を正式な国民の祝日に決定。
- 経済**：中央銀行、政策金利据え置き。
政府、1万5000人の輸出業者に特別なパスポートを交付予定。
- 治安**：米国総領事館による注意喚起。
アンタルヤ県商工会議所の駐車場で車両が爆発。
- 軍事**：アサド政権軍、トルコが支援する自由シリア軍を攻撃。
米、「ラッカ解放作戦計画はクルド勢力と数週間以内に開始」。
- 社会**：アタテュルク国際空港でぼったくりタクシー。
イスタンブール市が43地点に路面凍結防止システムを設置。

政治

【内政】

- 実権型大統領制を目指す憲法改正議論が加速**
(1)23日、AKPは、アフヨンカラヒサル県で国会議員を中心とした党内会合を開催し、ユルドゥルム首相は、トルコとして「完全なる」大統領制（実権型大統領制）の実現を目指すべきであると改めて明言した。（10月23日付M紙インターネット版）
(2)25日、ユルドゥルム首相は、実権型大統領制導入に理解を示すと受け取られているバフチェリMHP党首の一連の発言について「希望を与える、建設的な発言だ」と述べて評価した。（10月26日付C紙4面）
(3)25日、トゥランAKP院内副総務は、実権型大統領制の実現を目指す内容の憲法改正案は、12月に予定される予算審議に先立って国会で議論されると述べた。改正案の全貌も近く明らかにされる見込み（10月26日付S紙22面）
- 国会、7月15日を正式な国民の祝日に決定**
25日、国会本会議は、クーデター未遂事件が発生した7月15日を「民主主義及び国民団結の日」と制定し、国民の祝日にする法案を賛成多数で可決した。また、クーデター未遂事件の主要舞台となったアンカラ県カザン郡が「カフラマン（英雄の）カザン郡」と改名された。（10月26日付S紙23面）
- 人権団体、クーデター未遂事件後の人権状況を批判**
国際人権NGOのヒューマンライツウォッチは、クーデター未遂事件後のトルコにおける拷問と虐待に関するレポートを発表。非常事態宣言下での拘束期間の長期化を含む13項目を列挙し、トルコ政府の対応を批判した。（10月25日付C紙7面）

【外交】

●カタール首長がトルコを訪問

23日、アール・サーニ・カタール首相がイスタンブールを訪問し、エルドアン大統領と会談、地域情勢や二国間関係について協議した。（10月24日付M紙インターネット版）

●アッバース・パレスチナ大統領がエルドアン大統領と会談

24日、アッバース大統領がトルコを訪問し、エルドアン大統領と会談した。会談では、トルコ・イスラエル関係の正常化が議論された他、アッバース大統領は、7月15日のクーデター未遂事件を起こしたFETOを強く非難した。（10月25日付S紙）

●エロー仏外務・国際開発大臣がトルコを訪問、非常事態宣言に言及

23日、エロー仏外務・国際開発大臣がエルドアン大統領を表敬するとともに、チャヴシュオール外相と会談した。エロー大臣は記者団に対し、仏の非常事態宣言では、司法の独立が保たれていてトルコのそれとは異なる旨を述べたのに対し、チャヴシュオール外相はトルコと仏の非常事態宣言に違いはないと反論する場面があった。（10月25日付C紙5面）

経済

●住宅販売件数急上昇、外国の需要は減

9月のトルコの住宅販売件数は、前年同月比17.8%増加し1万8918件。うち、外国人への販売件数は、同28%減少し1276件であった。住宅販売件数全体の38.6%を占める住宅ローンによる販売件数は、同46.7%増加し4083件。外国人が購入した住宅について、県別ではアンタルヤが359件で最多。イスタンブール（323件）、ブルサ（82件）、アイドゥン（69件）が続く。国別ではイラクが230件で最多であり、サウジアラビア（140件）、ロシア（99件）、ク

ウェート（85件）が続く。（10月25日付HDN紙10面）

【金融・経済政策】

●中央銀行、政策金利据え置き

20日、中央銀行は、全ての政策金利を据え置いた。1週間物レポ金利は7.5%、翌日物借入金利は7.25%、翌日物貸出金利は8.25%。主要政策金利の据え置きは8か月ぶり。（10月21日付HDN紙1、10面）

●優良納税者への税優遇策を発表

アーバル財務相は、定期的に所得税や法人税を払っている納税者に対して減税すると発表した。過去3年から5年間に期限内に納めた者を対象とし、1~3%の減額となる見込み。（10月21日付HDN紙10面）

●政府、1万5000人の輸出業者に特別なパスポートを交付予定

ゼイベキジ経済相は、新たな投資インセンティブの一環として、約1万5000人の輸出業者に対し、ビザを迅速に取得できる、もしくは、多くの国へビザなしで入国できる特別なパスポートを新規交付すると述べた。同パスポートの交付数は、企業の輸出額に応じて決定される。（10月24日付HDN紙1、10面）

【企業等の動き】

●欧州復興開発銀行、トルコの新病院に出資

20日、欧州復興開発銀行（EBRD）は、イズミルに建設予定の高機能病院・バイラクル病院に対する8億4100万ドルの包括的な長期融資パッケージに署名したと発表。EBRDのアレンジによるシンジケートローンで、EBRD、ユニクレディット、中国工商银行ドバイ支店、インテザ・サンバオロ銀行が融資する。合計2060の投資床を有する同病院は2019年開院予定。（10月20日付AAインターネット版他）

●トルコの投資銀行、イスラム金融部門へ参入

イスラム開発銀行傘下のイスラム民間開発公社（ICD）、トルコ最大の民間投資銀行であるアクティブバンク及びICD子会社のイジャラ・マネジメント・カンパニーは、ファイナンス・リース会社ハリッジ・リーシング（HL）の新たな株主として協定を結んだ。アクティブバンクは、HLの株式の32%を獲得することでイスラム金融部門に参入する。同行は、今回の投資により、中小企業の成長のためのファンド創設を計画しており、今後は先端技術機械設備への融資に焦点を当てる。（10月25日付HDN紙10面）

●欧州復興開発銀行、再生可能エネルギーに融資

25日、欧州復興開発銀行は、イシバンクが再生可能エネルギーに投資する民間企業向け融資を行うためのプログラムに5500万ドルを融資すると発表。（10月26日付HDN紙10面）

【エネルギー関連】

●ターキッシュ・ストリーム・パイプラインの建設「遅延なく実施」

26日、アルバイラク・エネルギー天然資源相は、ターキッシュ・ストリーム天然ガスパイプラインのプロジェクトが遅れることはないと言った。同大臣によると、同パイプラインの建設は2017年に開始し、2019年に完了する計画。ロシアのガスプロム社のミラーCEOは24日、同パイプラインについて、2019年末までに2本のラインが完成するだろうと述べた。（10月27日付HDN紙1、10面）

【イスタンブール関連】

●1-9月の高速道路と橋の通行料収入、9億520億リラ

今年1-9月にボスポラス第1及び第2大橋と高速道路から得られた通行料収入は計9億520万リラ。内訳は、橋の通

行料収入が計2億2190万リラで、高速道路の通行料収入が6億8320万リラ。同期間には、3億1700万台の車が2つの橋と高速道路を利用した。（10月21日付AAインターネット版）

●イスタンブール金融センターの法的枠組、間もなく公表予定

アーバル財務相は、イスタンブール金融センター（IFC）の関連法が間もなく公表される予定であると述べた。同法は、インセンティブや税の優遇等についても定める予定。（10月24日付HDN紙10面）

●新空港鉄道等の入札

アタテュルク空港へのアクセス向上を目指す新鉄道、パンヤクシェヒル-ハルカル間の入札は11月14日に実施予定。9kmの空港鉄道建設は365日以内に終了することが求められており、2019年に開通予定となっている。また、カズルチェシメ-ソーウチュルチェシメ間の新メトロ線建設の入札やカバタシューバー-ジュラル間のトラム線の入札も、イスタンブール市により26日実施される。（10月21日付DUNYA紙2面）

●チャナッカレ海峡大橋の入札が公示、大橋と高速道路にかかる費用は250億リラ

26日、チャナッカレ海峡大橋建設の入札公示が行われた。入札締切は1月26日で、3月18日に着工予定。橋の通行料金は15ユーロ+税。ユルドゥルム首相は、日中韓の企業及びトルコ国内企業が同プロジェクトに関心を示していると述べた。同橋を含む高速道路プロジェクトの事業規模は、橋梁部分が150億リラ、高速道路部分が100億リラとなる予定。（10月26日付H紙8面他）

【その他】

●飛行機遅延に対し、1日あたり700万リラ

Webサイト「ucakgecikmeleri.com」によると、トルコにおける飛行機利用客は、便が欠航または3時間以上遅れた場合に、補償を受けることができるようになる。補償額は、1日あたり700万リラ、年間で250億リラになると見積もられている。トルコでは年間1億6500万人が飛行機を利用しているが、そのうち約300万人の便が欠航または3時間以上の遅延となっている。（10月26日付HDN紙11面）

●トルコ、ビジネス環境ランキングで69位へ下落

28日に世界銀行が発表したビジネス環境ランキングで、トルコは14ランク下落し69位となった。同ランキングは、各国・地域の資金調達環境、電力供給、税制等10項目を分析したもの。1位はニュージーランド、2位はシンガポール、3位はデンマーク。日本は34位。（10月27日付HDN紙11面他）

治安

【ISIL関係】

●イスタンブール県において対ISILオペレーション

(1)21日、イスタンブール県警は、エセンユルト、キュチュックチェキメジェ、キャウトハーネ各区分で対ISILオペレーション実施、テロ準備中の3名の自爆テロ容疑者を拘束。（10月21日付Birgun紙インターネット版）



(写真は10月21日付Birgun紙インターネット版から)

(2)27日、イスタンブール県警は、バシャックシェヒル、キャウトハーネ、ファティフ、ガージオスマンパシャ、ペンディック、ギュンギョレン等の7区において対ISILオペレーションを実施(礼拝所3カ所含む)。ISILシンパをシリアの戦闘地域に送り込む任務等を行っていた21名を拘束した他、外国からトルコ入りし、シリアの戦闘地域に向かう予定であった20名の子供を含む60名を拘束した。(10月21日付Birgun紙インターネット版他)

●米国総領事館による注意喚起

22日、在イスタンブール米国総領事館は、イスタンブール在住の米国民及び外国人に対するあり得べきテロ攻撃について治安情報を発出。総領事館のWebサイトに掲載されたステートメントにおいて、「過激グループは引き続き、イスタンブールの米国人及び／又は外国人を攻撃するべく挑戦的な努力を継続している、攻撃には武装攻撃のみならず、誘拐企図、爆撃その他の暴力行為が含まれる」と言及。更にイスタンブールに居住又は訪問する米国民に対して、欧米人が頻りに訪問する有名な場所に行く時の安全上の習慣を見直すようアドバイスするとともに、南東部、特にシリア国境沿いへの旅行は避けること、人が多く集まる場所や政治集会には近づかないこと、ローカルメディアから情報を得ること、などについて注意喚起した。(10月23日付HDN紙インターネット版)

●キリス県にロケット弾が着弾

26日、シリアのISIL支配地域から発射されたロケット弾がキリス県エルベイリ郡に着弾し、農作業をしていた18歳の女性が軽傷を負った。



(写真は10月27日付HDN紙インターネット版から)

●アダナ県でISIL自爆テロリスト2名拘束

26日、アダナ県アダナ市セイハン郡で、アパートの地下部分に居住していた、ISILの自爆テロリスト2名が拘束された。(10月27日付C紙6面)



(写真は10月27日付HDN紙インターネット版から)

【PKK関係】

※掲載内容は、トルコの報道をまとめたものです。

●ハッカリ県で兵士2名死亡

20日、ハッカリ県チュクルジャ郡で、治安部隊とPKK戦闘員との間で衝突が発生し、兵士2名が死亡、同5名が負傷した。PKK戦闘員21名も死亡した。(10月21日付HT紙12面)

●ビンギョル県で警察官2名死亡

23日、ビンギョル県で、爆弾を積んだ車両による攻撃により、警察官2名が死亡した。(10月24日付HT紙15面)

●アンタルヤ県商工会議所の駐車場で車両が爆発

25日、午前8時50分頃、アンタルヤ県の商工会議所の駐車場で車両が爆発し、爆風で割れたガラスの破片で約10名が軽傷を負った。爆発の原因については、テロであるのか、天然ガス車の爆発等の事故であるのか、26日現在、当局から発表されていない。(10月26日HDN紙インターネット版)



(写真は10月26日付HDN紙インターネット版から)

●村落警護員5000人を新規採用方針

20日、政府は、南東部でのPKKとの闘いを進めるため、5000人の新たな村落警護員の採用を決定した。村落警護員等の名称も改称され、保安警護員と公称されることとなる。現在の村落警護員の待遇面も改善され、定年が現在の55歳から40又は45歳となり、定年退職した村落警護員の親戚も、その地位に採用されることになるという。(10月24日付HDN紙インターネット版)

●ヴァン県でAKP党員自宅に爆発物が投げ込まれる

25日夜中、ヴァン県ムラディエ郡で同地域のAKP青年部長の自宅に手製爆弾が投げ込まれたが、死傷者は出なかった。容疑者3名が、爆発物を投げ込んだ後逃走しており、警察が行方を追っている。(10月27日付HDN紙3面)

(写真は10月27日付HDN紙インターネット版から)

●バイク車両爆弾テロの容疑者らを逮捕

26日、10月6日にイスタンブール・パフチェリエヴレル区イエニボスナで発生したバイク車両爆弾テロの実行者PKKテロリストを含む7名が逮捕。実行犯Ekrem Gün(バトマン出身、28歳)らテロリストはテロ実行後、アクサライ県において拘束されていた。(10月26日付Milli紙インターネット版)



(写真は10月26日付Milli紙インターネット版から)

●ハッカリ県でのPKKテロの容疑者がイスタンブールで逮捕

23日、本年6月24日に南東部ハッカリ県で4名の軍人を爆殺したPKKテロリストがイスタンブールで逮捕された。(10月23日付C紙インターネット版から)

【FETO 関係】

●パイロック使用の警察職員61名が逮捕

10月16日、ギュレン派が使用していたとされる秘密通信アプリ・パイロックを使用していたとして、警察職員61名が逮捕された。この内、45名が署長又は副署長クラスであった。(10月21日付S紙インターネット版)

●クーデター未遂時の大統領と首相の拘束計画が判明

秘密証人の証言による起訴状によると、陸軍の特殊部隊のギュレン派メンバーは、クーデター未遂発生時、エルドアン大統領がイスタンブールにいれば、拘束した上でヘリコプターに乗せ、イスタンブール沖の海軍艦艇に運ぶ計画であったという。ユルドゥルム首相を含む他の政府高官についてはアクンジュラル空軍基地に移送される予定であったという。また、クーデターが成功した後の最初の行動として、クーデター前に拘束されていたギュレン派の釈放が計画されていたという。(10月24日付S紙インターネット版)

●3907名のギュレン派が指名手配

ボズダー法相は、ギュレン派関係者であることを理由に、依然として3907名が指名手配されていると述べた。また、35名の外交官がドイツへ亡命申請しているという。別の政府筋によると、数10名の外交官、軍将校、およびその家族が、クーデター後ドイツへ亡命申請しているという。

ドイツには、300万人のトルコ移民コミュニティがあり、ギュレン関係者が数十の教育機関、企業、メディア等からなる広いネットワークを構築してきた。ドイツは、トルコからのギュレン関係者の引き渡し要求に対して、ドイツ国内法では違法組織ではないとの立場をとっている。

(10月24日付S紙インターネット版)

●逃走中の空軍「イマーム」に400万リラの懸賞金

内務省が発表した指名手配リストによると、ギュレン派における空軍の「イマーム」と言われた最高幹部の1人のアディル・オクスズの逮捕に貢献した者に対して400万トルコリラの懸賞金が払われる。他の7名の逃走中の幹部も手配リストに載っており、高額な懸賞金がかけられている。オクスズは、クーデター未遂事件の後、一旦は拘束されて裁判所に送致されたが、釈放後に逃走し現在まで行方が分かっていない。(10月26日付HT紙16面)



(写真は10月26日付アジヤンパル・インターネット版から)

●CHP党首「真のクーデターがAKPによってなされている」

25日、CHPのクルチダヴォール党首は、クーデター未遂事件後のギュレン派取締りにおいて、多くのジャーナリストが収監されていることを批判し「彼らが何をしたのか。彼らは銃で人を殺したのか、彼らは誰かを傷つけたのか。(表現の自由等に対して) AKPこそがクーデターを起こしており、ジャーナリストや作家等を刑務所に入れている。」などと述べた。(10月26日付HT紙15面)

【その他】

●イスタンブールでバスに火炎瓶投擲

25日、イスタンブールのオクメイダヌ地区で覆面の4人組がバスを停止させようとし、バスの運転手が停止に応じずに走行したところ、4人組はバスに火炎瓶を投擲。火炎瓶の一つはバスの窓ガラスに、別の一つはバス後方の窓ガラスに当たったが、死傷者は出なかった。バスはイスタンブール交通株式会社のEminönü-Kulaksız区間を運行する一般の旅客バス。(10月25日付DunyaBulteniインターネット版)



(写真は10月25日付DunyaBulteniインターネット版から)

軍事

【北シリア方面】

●トルコ軍機が北アレッポのPYDを空爆

20日、トルコ軍は、北アレッポに所在するPYDの関連施設等18カ所を空爆し、160-200名のPYD戦闘員を殺害したと発表。トルコ軍が北アレッポのPYD拠点を空爆したのは、ユーフラテスの盾作戦実施後初めてとなる。(10月21日付HT紙12面)

●アサド政府軍、トルコが支援する自由シリア軍を攻撃

(1)25日、トルコ軍は、「アレッポ北部においてアサド政府軍が、トルコ軍が支援する自由シリア軍部隊に対してヘリコプターから榴弾を投下する攻撃を実施し、自由シリア軍兵士2名が死亡、同5名が負傷した」旨発表した。アサド政府軍は、シリアの領空に入ったトルコ軍機は打ち落とされるとの警告を行っていた。(10月26日付S紙インターネット版)

(2)26日、チャヴシュオール外相は、「シリア政府は、ISILと戦う戦力を攻撃した。シリア政府による自由シリア軍への攻撃が、我々の作戦を止めることはできない。ユーフラテスの盾作戦は、ISILが支配する)パーブまで続けられる」と述べた。(10月27日付HT紙15面)

●エルドアン大統領、マンビジからPYDを追い出すことを誓う

26日、エルドアン大統領は、大統領官邸で行われた会合において、シリア民主軍(SDF:クルド勢力PYDとアラブ人等との合同軍)と米軍が、ISILを駆逐して支配している北シリアのマンビジについて、「我々はマンビジからPYDを追い出すことを決めた。PYDが、マンビジから離れユーフラテス川の東側に戻らなければ、必要なことは何でもやる。」と述べた。(10月27日付HT紙16面)

【北イラク方面】

●外相がモースルへのトルコ陸軍投入可能性に言及

25日、チャヴシュオール外相は、もしトルコへの脅威があれば、我々は地上作戦を含む全ての選択肢を実行するだろう、と述べ、トルコ陸軍のモースル解放作戦への参加可能性に含みを持たせた。(10月26日付HT紙12面)

●国防相、「モースル解放作戦へトルコ軍機派遣準備完了」
26日、ウシュク国防大臣は、「我々は、モースル解放作戦の空爆任務に喜んで参加する。我々の戦闘機はいつでも任務を遂行する準備ができています。」と述べた。(10月27日HT紙15面)

●オバマ・エルドアン両大統領が電話会談

26日、米国オバマ大統領は、エルドアン大統領と電話会談を実施し、ISILとの闘いにおいて、緊密な協力関係を進めていくことで合意した。オバマ大統領は、イラクでの対ISIL有志連合へのトルコ軍の参加について協議することを求めた。トルコの北イラクのバアシーカ基地への駐留とモースル解放作戦へのトルコ参加の要求は、イラク政府との深刻な対立を引き起こしており、ワシントンの頭痛の種となっている。(10月27日S紙インターネット版)



(写真は10月27日付HDN紙インターネット版から)

●トルコ軍がバアシーカ基地への増派の可能性

情報筋によると、現在進行中のトルコとイラク両国のバアシーカ基地のに関する交渉が決裂した場合、トルコは、高まるISILからの脅威に対抗するため、バアシーカへより多くの陸軍を派遣することを検討しているという。

(10月27日付HDN紙インターネット版)

社会

●アタテュルク国際空港でぼったくりタクシー

4日、会議に出席するためイスタンブールを訪れたチェコ国籍の会社員が、アタテュルク国際空港からタラブヤまでタクシーを利用したところ、通常の4倍以上となる345リラを請求された。通常は80リラの距離であると運転手に苦情を伝えつつ、その場では支払に応じ、領収書を添えてイスタンブール市に苦情書を提出した。イスタンブール・タクシー協会によると、これまでに150台の違反タクシーが摘発された一方、未だ2~3000台もの違反タクシーが横行しているとみられる。(10月21日付HT紙4面他)

●アヤソフィア内のヒュンキヤル・カスルに専属のイマームが任命

1991年から礼拝所として利用されてきたアヤソフィア博物館内のヒュンキヤル・カスルに、宗務庁から新たに専属のイマームが任命された。アヤソフィア博物館は、ビザンツ教会として916年間、モスクとして482年間使われた後、1935年から博物館として公開されている。これまでスルタンアフメット・モスクから流れるエザーンに基づいて礼拝が行われたが、今後は専属のイマームによるエザーンが1日5回、アヤソフィアの4つの尖塔から流される予定。

(10月21日付HT紙11面他)

(写真は10月20日付HT紙インターネット版から)

●イスタンブール市が43地点に路面凍結防止システムを設置

イスタンブール市は、本格的な冬の到来に備え、防災会議を実施し、市内43地点に路面凍結モニター・システムを設置すると発表した。同システムは、各地点の道路表面の気温・湿度等のデータを収集・監視し、凍結前に必要な対策を講じる仕組み。第3大橋と幹線道路には合計13地点に路面凍結監視システムを設置し、主要箇所には合計1万トンの凍結防止剤(塩化カルシウム)を使用する予定。(10月24日付HT紙21面他)

●イスタンブールで撮影された映画「インフェルノ」が公開

2013年に出版されたダン・ブラウン氏の小説を原作とした映画「インフェルノ」が封切りされ、14日から国内で上映が始まった。小説では、アヤソフィア博物館と地下宮殿が舞台の一つとなっており、イスタンブールでも撮影が行われた。同氏の小説「ダ・ヴィンチ・コード」、「天使と悪魔」出版・映画化後は、舞台となった各都市で小説になぞらえたツアーが始まっており、「インフェルノ」出版後もイスタンブールでツアーが実施されており、更なる外国人観光客の増加が期待される。(10月22日付Vatan紙インターネット版)

●トルコにおけるコーヒー輸出入の数字が明らかに

TÜİKによる2011~2015年のコーヒーの輸出入に関する統計によると、過去5年間で1億3600万ドル分のコーヒーを輸出した一方、10億1200万ドル分を輸入しており、輸入は5年間で42%増加した。最も輸入額が高い国は4億2900万ドルのブラジルで、インド、スイス、オランダが続く。チャイについては、過去5年間で8700万ドル分が輸出されたが、輸入額は1億260万ドルに上っている。(10月25日付H紙12面他)

●黒海海底でビザンツ帝国、オスマン帝国時代の船が発見

イギリスのサウサンプトン大学黒海考古学プロジェクトの研究者グループが、海深1800メートルの黒海海底に40隻を超える沈没船を発見した。沈没船はビザンツ帝国時代とオスマン帝国時代のものとみられ、遠隔制御装置にて写真が撮影された。専門家は、酸素量が少ない深海の環境条件が沈没船の保存に好結果をもたらしたと語った。(10月26日付H紙34面他)



(写真は10月25日付H紙インターネット版から)

●イスタンブールのダム貯水率は39.25%

今年3月に貯水率87.25%を記録してから、イスタンブールのダムの平均貯水率は降水量の少なさから徐々に低下し、10月は39.25%となった。(10月27日付HT紙22面)

各ダムの10月の貯水率	
ダム名	貯水率
オメルリ	42.11%
バブチュデレ	21.49%
サズルデレ	34.07%
ブユクテクジエ	31.78%
アリベイ	37.11%
テルコス	46.37%
カザンデレ	62.68%
エルマル	0.53%
ダラルツク	47.05%
ウストラジャラル	36.29%

本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党 (現与党)	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党 (クルド政党)	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党 (最大野党)	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TIKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党 (クルド政党)	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKI	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
IHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
IKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
ISO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İŞİD	イラク・レバントのイスラム国 (アルカイダ系)	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟 (PKK系)	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党 (野党)	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Ghan News Agency	GA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp
 WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html
 Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2016.1.1～2016.10.27 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2015年		8件		6件		20件		9件
2016年	1件	7件	0件	2件	0件	19件	0件	2件

●今週は、アブダビーイスタンブール間での、飛行機内で、席上荷物入れから、現金を抜き取られる窃盗被害が1件ありました。☆情報によると、現在、ドバイやマレーシア-イスタンブール便において、中国人の窃盗グループによる、飛行中の席上荷物入等から現金が盗まれる盗難被害が多発しています。航空機内では、貴重品は肌身離さぬようご注意ください。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- 治安速報：現在の治安情勢について(10/18)
- アンカラ県における集会・デモ等の禁止について (10月18日)
- 江原総領事のイスタンブール・エアショー視察 (10/20)